

## 4. 多湿・蒸暑地域じょうしょにおける建築環境技術の環境開発・技術援助の推進

### 蒸暑地域住宅の研究／研修プログラム（建築研究所） [H21.4～]

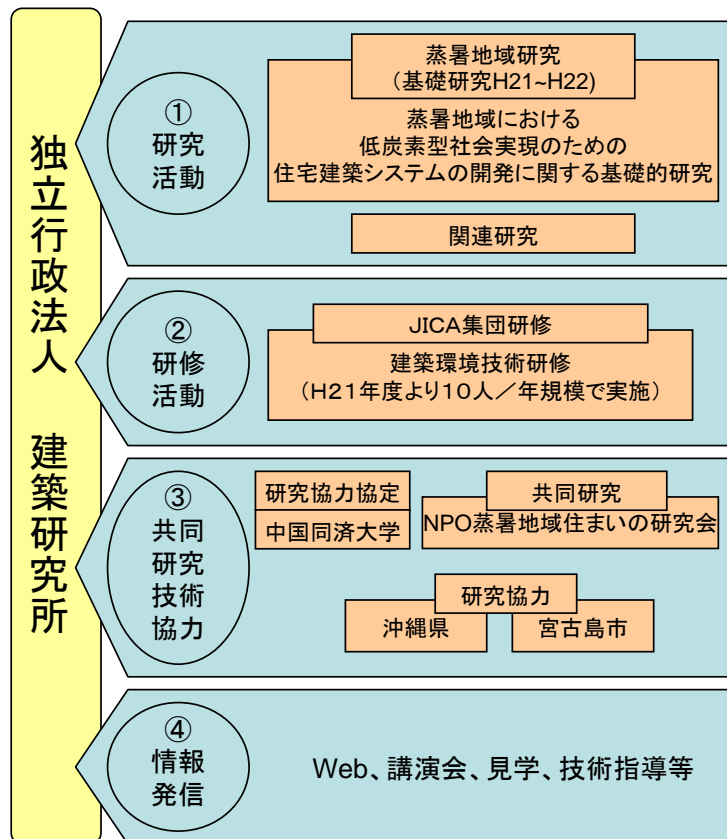
目的: 研究の成果をアジアをはじめとする蒸暑地域の開発途上国等へ普及



国内の蒸暑地域(沖縄や南九州を中心とした地域)向けに住宅に関わる省エネルギー技術を開発(H18～20年度)

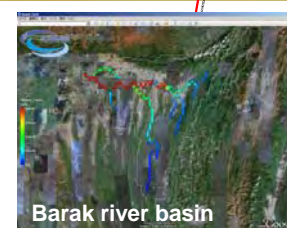
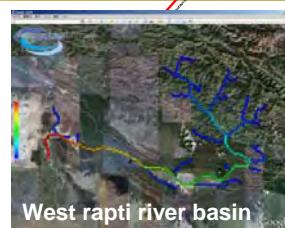
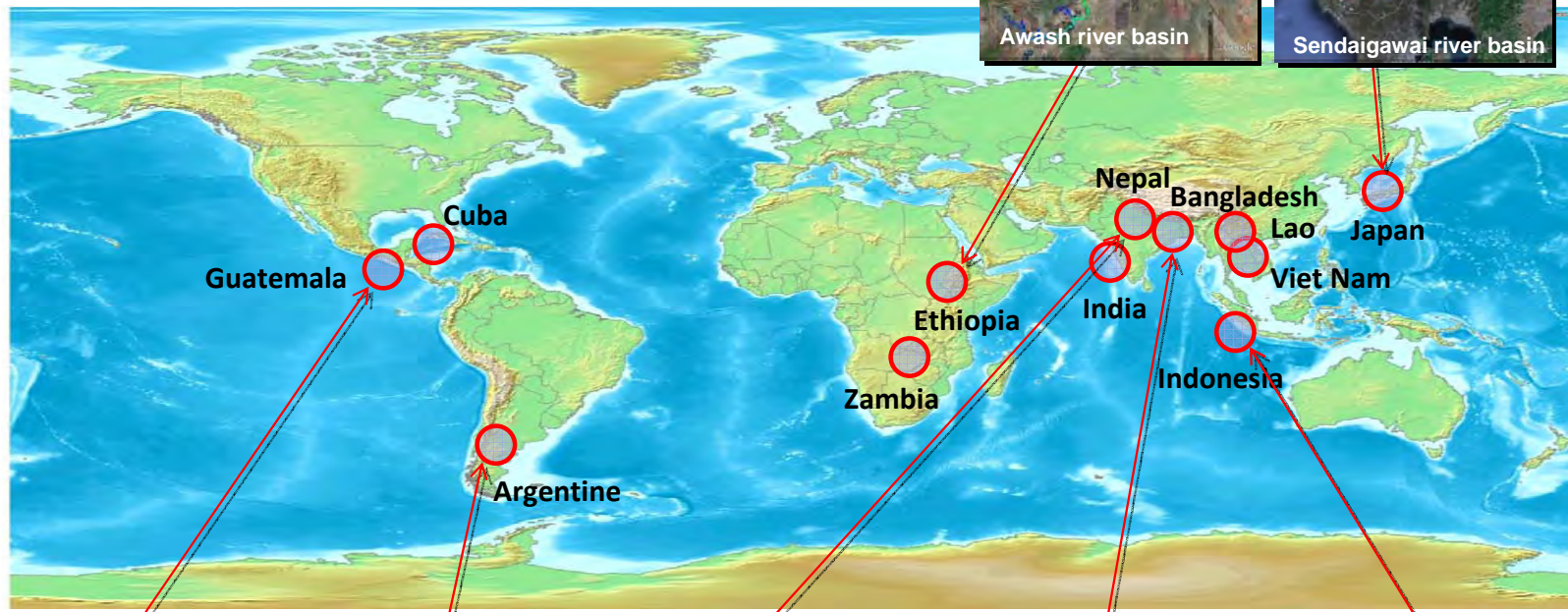
#### 蒸暑地域住宅の研究/研修プログラムの内容

- 1) アジアをはじめとする蒸暑地域の気候、生活習慣等に適応した住宅の省エネルギー技術や、蒸暑地域対応住宅を活用した地域振興手法に関する研究の推進
- 2) 蒸暑地域を持つ各国の研究機関、住宅関連技術者等との共同研究や研究協力の実施
- 3) 上記の研究成果や蒸暑地域を持つ開発途上国等からの研修生に対するわが国の優れた建築環境技術に関する研修の実施  
(研修期間：平成21年10月～11月)
- 4) 上記の研究成果等の幅広い普及



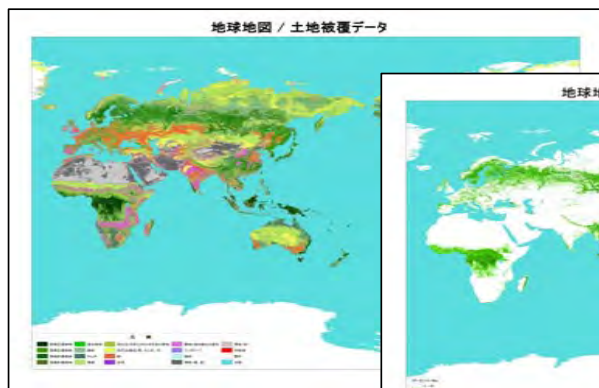
## 1. 開発途上国における水資源管理・洪水・渇水被害軽減に資する情報の提供

総合洪水解析システム (IFAS) の海外での適用状況  
(WMO及びIFNetと連携。世界11カ国で試験適用段階)

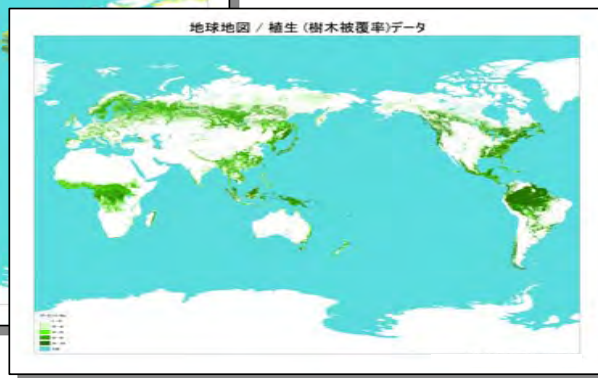


## 3. 地球地図整備

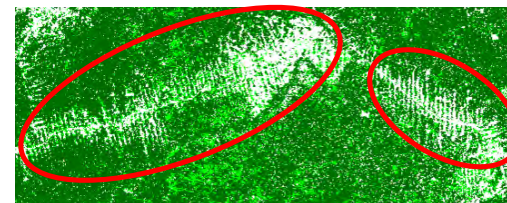
- ・ 地球地図第1版を公開(データ公開:70ヶ国・4地域)
- ・ 2008年に全陸域データを公開(土地被覆データ、植生データ)
- ・ その他はデータ整備中



土地被覆データ



植生(樹木被覆率)データ



植生(樹木被覆率)データからわかる  
アマゾンの森林減少

- IPCC(気候変動に関する政府間パネル)のガイドラインにおいて、温室効果ガス排出・吸収量算定を行うための元データの一つに地球地図が位置づけられている。
- (独)土木研究所の統合洪水解析システム(IFAS)に地球地図が組み込まれ、流出係数の計算に使用されている。
- その他、森林減少／砂漠化進行の把握、海面上昇シミュレーション、自然環境の分析と保護策の検討、環境教育等への利活用が可能

## 国際的な技術戦略の構築 (国土交通省技術基本計画 H20.4)

### ① 国際標準化活動推進のための体制構築

(自動車基準・認証制度の国際化、土木・建築基準及び認証制度の国際調和など、必要に応じて組織体制の再編・強化など、国際標準化活動の強化を図る)

### ② 研究活動と国際標準化活動の一体的推進

(技術研究開発成果の国際基準化が期待される技術研究開発について、研究計画等に国際標準化に対応した取り組みを明確に位置づけ)

### ③ 国際標準化推進のための人材育成等

(国際標準化に携わる人材の適切な評価・処遇及び教育、国際標準化活動に関する情報の提供などの取り組み)

### ④ アジア等の諸外国との連携強化

(アジア・太平洋地域が国際標準化をリードするための基盤整備、人的ネットワークの強化等を目指した人材交流の推進とともに、技術研究開発と研修の一体的な実施など)

### ⑤ 技術開発成果の海外への普及と国際市場への展開

(関連団体と連携して海外の情報や過去の経験を収集・整理して情報の提供を行う、今後の海外展開の方向性を検討する)

### ⑥ 社会資本整備における日本の保有技術による国際貢献

(開発途上国から技術者を招待し技術研究開発と研修の一体的な実施)



国際標準化や技術の国際展開の産学官一体となった推進を行うにあたり、外交においても諸外国との協力関係の強化を期待する。